令和4年度　山城小学校　スクールプラン

笑顔の集う学校・みんなが来たくなる学校　をめざして

学校教育目標

やさしく　かしこく　たくましく

めざす子ども

心豊かで思いやりのある子

自他の「よさ」に気づき認め合う
友達と仲良く助け合う
いのち　こころ　自然を大切にする
美しさやすばらしさに感動できる
心のこもったあいさつができる

よく考え自ら学ぶ子

興味関心をもち意欲的に学ぶ
めあてや課題をもち自ら考える
互いに学び合い　高め合う
夢やねがいを大切にする
学習習慣を身に付ける

心身ともに健康で実行力がある子

運動・スポーツに親しむ
健康や安全に注意して生活する
友達と元気よく遊ぶ
自ら気づき進んで働く
物事に粘り強く取り組む

めざす学校

笑顔の集う・みんなが来たくなる学校
明るく元気で活気ある学校
楽しく学び 遊び 生活する学校
安全・安心な学校
子ども・保護者・地域の方が来たくなる学校

めざす教職員

子どもの心に寄り添い共に歩む
子どもの思いを大切にする
子どもと共に笑い、泣き、働く
自らが学び続ける

学校経営の重点

主体性の育成
- 可能性を信じ、期待する
- 場と時間、手段の保障
- 評価の工夫

豊かな人間性と社会性の育成

（思い遣る心と豊かな感性を育む教育の充実）

☆道徳教育の充実
- 教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進
- 「特別の教科　道徳」（道徳科）の授業づくり
- 情報モラルの指導
- 人権教育の推進

☆特別支援教育の充実
- 一人一人のニーズに応じた支援
- 校内委員会・ケース会議の機能充実
- 関係機関との連携

☆豊かな感性の育成
- 読書活動の推進（朝読書、家読等）
- 音楽、演劇等文化活動の充実

☆生徒指導の充実
- 児童理解に努め、児童一人一人を伸ばす生徒指導
- いじめ、不登校への対応
  基本方針　対策会議　SC等の活用
- 関係機関との連携

☆思い遣る心を育む児童会活動の展開
- 児童会行事の創意工夫
- あいさつ運動・ボランティア活動の推進
- 遊びを通しての絆づくり

わかる・楽しい授業の展開

（確かな学力の向上）

☆わかる授業・楽しい授業の展開
- 甲府スタイルによる授業　見通し・振り返り
- 指導と評価の一体化による授業改善
- 課題提示・教材・教具の工夫　ICTの活用
- ふるさと学習

☆基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 繰り返し学習、ドリル学習の工夫

☆主体的・対話的で深い学びの推進
- 校内研究の充実と日常実践とのリンク
- 言語活動の充実

☆個に応じた指導の工夫・改善
- TT・取り出しによる指導・展開の工夫

☆理数教育の充実
- 実生活との関連、問題解決の過程を重視

☆学習規律の確立
- 話の聞き方、発言の仕方など

☆朝学習の充実
- 補充学習、強化学習

☆家庭学習の習慣化
- 家庭学習の手引、自学ノート、端末の活用

☆「外国語学習」の充実
- 専科教員・ALT・学級担任の連携

健康安全教育の推進

（健やかな心と体つくり）

☆自らの健康や安全に努める児童の育成
- 健康安全教育の充実と指導の徹底
  心身の健康　生活安全　交通安全
  防災安全　「がん教育」
- 感染症予防への取組
  （うがい手洗いの励行、マスクの着用）

☆望ましい食習慣を養う食教育の充実
- 食育一校一実践の取組
- 食べて味わう「生きた教材」としての給食
- 食を通して社会を学ぶ

☆積極的な体力づくりへの取組
- 体力テストの実施と分析
- 一校一実践の取組
- 運動に親しむ習慣の確立

☆基本的生活習慣の確立
- 「早寝・早起き・朝ごはんに朝トイレ」の取組

学級経営の充実

学習指導要領に則った教育課程の実施

学校・家庭・地域との連携

地域教育との連携

☆学校から地域へ
- 地域行事への参加
- 地域の教育素材の開発
- 学校だよりの回覧
- 地域ボランティアの活用
- 保幼小の連携
- 小中の連携

☆地域から学校へ
- スクールガード隊等　地域の見守り活動
- 社会福祉協議会　青少年育成協議会
- 朗読やましろ

地域と共にある学校

学校開放日　学校評価
コミュニティ・スクール

家庭教育との連携

☆めざす子ども像の共有と役割分担
- 基本的生活習慣
- 「早寝・早起き・朝ごはんに朝トイレ」「あいさつ」

☆PTA活動の充実
- 授業参観　懇談会　親子活動　教育活動への支援

☆情報発信の充実
- 学校だより・学年だよりの発行　HPの公開
- 安心メール　家庭学習の手引